

2019年6月14日

各 位

日米拠点のベンチャーキャピタルファンドへの出資について ～米国シリコンバレーのIT企業との連携により新規事業創出を強化～

当社（社長：大田 勝幸）は、シリコンバレーと東京に拠点を構え、アーリーステージ[※]のB to Bスタートアップ企業へ投資を行うベンチャーキャピタル「DNX Ventures（以下、「DNX」）」が組成する3号ファンドへの出資を決定し、本日、契約を締結しましたので、お知らせいたします。

DNXは、デジタル技術革新を通じた新たな製品やサービスが次々と生みだされる米国シリコンバレーのIT企業を中心に、日米合わせて80社以上のB to Bスタートアップ企業への投資や、スタートアップ企業と出資企業のオープンイノベーションを積極的に推進しております。

当社は、今回の出資により、DNXが誇る米国のトレンドに関する情報収集力とスタートアップ企業と出資企業との協業に関する豊富な経験・ノウハウを活用し、国内事業におけるデジタルイノベーションを加速させ、新規事業の早期創出を目指します。

JXTGグループの長期ビジョンにおいては、2040年のありたい姿として「事業構造の変革による価値創造」を掲げており、当社は今後も国内外のスタートアップ企業との連携を図りながら、革新的な事業を創出・実行してまいります。

※ スタートアップが成長・拡大し、上場に至るまでに大きく4つの段階（シード、アーリー、ミドル、レイター）がある。
アーリーは、ユーザーはついてきており、メンバーも揃いつつある状態だが、収益が安定していない状態のこと。

<参考：当社が出資しているベンチャーキャピタルファンド>

- ・ 2018年11月出資 EEI4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合
（株式会社環境エネルギー投資が組成）
- ・ 2018年12月出資 未来創生2号投資事業有限責任組合
（スパークス・グループ株式会社が組成）

以 上